

事業報告書

事業名	音を絵にしてみよう！子どもたち&障がい児の為のジャズでアートチャレンジ教室
【計画時の事業目的(取組課題)と実施効果】	
<p><事業目的></p> <p>一昨年度、2019年2/2(土)川崎市宮前市民館1階大会議室で開催し、総勢:85名(一時来場者を含めると100名超)に参加頂いた本活動を、今年度は昨年度の開催に改善事項を加え、更なる充実と波及効果を目指す。</p> <p>「音を絵にしてみよう!」「ジャズを聴いて絵を描こう!」の主旨で子どもたちの創造性を育む。子どもはみんなアーティスト。目に見えない「音」を感じるままに、クレヨンアートやタイダイ染めのちぎり絵ワークでの表現を学ぶ。住んでいる地域から出る機会が少ない障がい児も、また障がい児と同じ場所を共有する機会が少ない健常の子どもも共に同じ場所でジャズを体感して創作活動にチャレンジすることで「夢」や「希望」を知覚する。</p> <p>音楽や美術は障がい者にこそ必要な表現活動。コミュニケーションのツールとしてアートが持つ意味を楽しさや喜びの中で習得する。アートを介して、自分の気持ちを伝える、他者を理解する、の双方向の大切さを学ぶ。アート作品等の結果が目的では無く、そこに至る迄の経験や経過こそが重要。</p> <p>プロのジャズギタリストによる Jazz の生演奏を聴き、体感することで、「楽しい」「嬉しい」「ワクワクする」等の素直な感情を他者へ伝える為のコミュニケーション能力育成を目指す。アートとしてそれが上手な絵等である必要は無い。</p> <p><取組課題></p> <p>音楽がなんらかの形でアートとして表現出来ているか?自らのアイデアや思い付き、感情を表現出来ているか?共に学ぶ集団、グループの作品に個の表現を重ね、結果それが協働でのアートにどのようにして為ったかを認識出来ているか?各講師の指導に「傾聴」し、「意思」や「印象」を個性として表現出来たか?その、個の作品が、集団での作品へと容易に繋がることを楽しいや嬉しいと感じられているか?を取組課題とする。</p> <p><実施効果></p> <p>①ジャズを体感して創作活動にチャレンジすることで「夢」や「希望」を知覚する。</p> <p>②障がい児本人が、自分自身の持つ、文化・芸術の可能性に気付き、思い浮かんだ夢を諦めることなく、未来に希望を持てるようになる。</p> <p>③文化・芸術が持つエンターテインメントとしての「楽しみ」「気分転換」「気晴らし」「遊び」「息抜き」等が、そのパフォーマーである障がい児のみならず、周りの家族や仲間をも含め、たくさんの人々に笑顔をもたらす。</p>	
【実施結果(成果)】	
<p>【実施時期・場所】</p> <p>■開催日①</p> <p>2021/02/06(土) 13:30 開場 / 14:00 開演 開講 / 15:15 終演 終講</p> <p>川崎市立宮崎台小学校 体育館(川崎市宮前区宮崎3丁目18-2)</p> <p>■参加人数</p>	

・子ども(障がい児):17名、保護者/付添:20名

◎ 応募者が予定より多くコロナ禍でもニーズが感じられた

◎指導者名:岩永浩二、デコピン/大内康弘、源内/岩永源内、JENI/小脇由香里、中島一郎、ナオト、Zunguka 共和国 メンバー/7名

■開催日②

2021/02/07(日) 13:30 開場 / 14:00 開演 開講 / 15:15 終演 終講

川崎市立東高津小学校 特別活動室(川崎市高津区北見方 2-5-1)

■参加人数

・子ども(障がい児):15名、保護者/付添:19名

◎ 応募者が予定より多くコロナ禍でもニーズが感じられた

◎指導者名:岩永浩二、デコピン/大内康弘、源内/岩永源内、JENI/小脇由香里、中島一郎、ナオト、MKG バンド メンバー/3名

【事業内容】

■パフォーマンス・ショータイム

2021/02/06(土)は、アイルランド ダブリンのニューパーク音楽大学を卒業し音楽学士号取得の若きミュージシャン/ジャズギタリスト「源内」参加の「Zunguka 共和国」:総勢9名による生演奏&パフォーマンス。アフリカ音楽とジャズが融合した「和フリカンジャズ」を演奏。また、翌日、2021/02/07(日)は、トリオで大人気の MKG バンドの演奏とジャグリングのパフォーマンス!! その演奏の中で、全国の施設等でアートワーク教室を開催するデコピン(SWITCH BOMB)氏が解説しながらのアートパフォーマンス。

■創作チャレンジ教室

参加者は、クレヨンアート、ぬり絵、カラーペイント創作にチャレンジ。

■発表タイム

時間の許す限り、各班の創作アートを、ステージ上で発表。講師はそれらの創作アートのどこが素敵だったか、どこをどう変更すれば更に良くなるか等のレクチャー。短い時間の中でも創造性を育み、仲間に発表する喜びも体感。

【対象者(募集方法)】

<対象・定員> 川崎市在住の子どもたち&障がい児(成人も参加可)30名

(子ども:15名、保護者付添:15名)

■募集チラシ配布先

学校、施設	/ チラシ /	ポスター
神奈川県立麻生養護学校	350	5
神奈川県立高津養護学校	310	5
川崎市立中央支援学校	290	5
川崎市立宮崎台小学校	1200	2
川崎市立宮崎小学校	1200	2

川崎市立東高津小学校	1000	2
福祉施設まじわる	100	3
文化財団	300	6

【実際の効果と課題】

・デコピン先生も、Zunguka 共和国のメンバーも、トリオで大人気の MKG バンドも、講師としての私たちも、音楽とアートチャレンジに関しては誰も「ダメ！」なことは発信/発言しません。

子どもたちがやりたい、やってみたい、とその場で感じたことを「安全」でさえあればなんでもアリで進めます。

子どもたちの多くは、Jazz の生演奏、しかも多人数でのライブを体感しながらのアートチャレンジは初めての体験だったでしょう。まさに「夢」や「希望」を知覚出来たと自負しています。

そして自分が表現した作品が会場の皆さんにデコピン先生によって紹介されます。

子どもたちは大なる自信が身体中に湧いてきたことでしょう。

・講師は各テーブル(グループ)間を移動しながら、時には隣にゆっくりと座って、各自にアドバイスしながら時には一緒に描きます。

・「それはこんな風に表してみようか」等、表現の幅を広げることへ導きました。

・講師はそれらの作品を子どもたちと共にみんなの前で解説し、みんなからも意見を募りました。

・子どもの作品の貼付を繰り返すことで、参加者みんなでの共同アートがいつの間にか完成しています。

・個の作品が、集団での作品へと変貌したことを実感しあい、評価しあうことが出来ました。

※結果、「作品」にする手法を経験し、創作過程を経て個々に合った表現スタイルの習得を図れました。

※表現し得た「作品」を発表/評価し合うことで、他者理解の経験/習得を図れました。

◎「絵を描く」ことは元から好きだったのですが、ひとりで描くことのみを好んでいた子が、他の子と一緒に同じキャンバスに描画するなんて信じられませんでした！

◎うちの子が、みんなの前で自分の作品を見て欲しい！って前に出て行くななんて信じられませんでした。デコピン先生のことが今でも印象に残っているようで、また会いたがっています。

◎クレヨンを口に入れてしまって、上手に使ったり描いたりはなかなか出来てなかったのですが、今回は口に入れることもなく、しっかり塗り絵が出来ました。ありがとうございました。

◎演奏はもちろんですが、ジャグリングパフォーマンスは参加した家族全員で楽しめました！

◎昨年参加させて頂いた際は、音響の機材が気になって、全く絵には集中して無かったのに、今日は音楽を感じながら、絵を描くことに集中していました。1年前と比べると、これは進歩なのでしょうか？

等のメールやお声掛けを頂きました。

■今後の課題

◎コロナウイルス感染症対策

◎川崎市南部地区での開催実現